

TASCAM
TEAC Professional Division

Compact Disc Player/Reverse Cassette Deck

CD-A500

3D001700

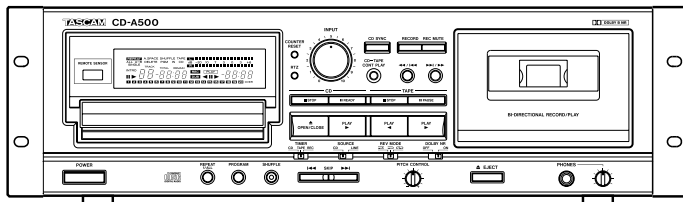


■ 取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。また、お使いになる方がいつでも見られるところに、保証書と一緒に大切に保管してください。

目次




安全にお使いいただくために	2-3
ご使用前に	4-5
各部の名称	6
リモコンについて	7
ラックマウントについて	7
接続のしかた	8
寸法図	8
CDの機能	
CDを聞く	9
曲を選ぶ/曲の途中を探す	10
好きな曲順で聞く	11-12
曲を除外する	13
繰り返し聞く/ランダムに聞く	14-15
1曲だけ聞く/イントロを次々と聞く	16
時間表示を切替える/曲間を空ける	17
カセットの機能	
カセットを聞く	18
録音する	19-20
CDからテープヘダビングする	21-22
曲を選ぶ/その他の機能	23
連続再生/タイマー再生・録音	24
おや!故障かな?	25
簡単なお手入れ/保証とアフターサービス	26
仕様	27








安全にお使いいただくために

- この取扱説明書の注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するためのものです。
- 注意事項は、危害や財産への損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると、発生が想定される内容を〔警告〕、〔注意〕に区分して絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 注意事項のいずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示の例

	<p>△記号は、警告または注意を促す内容があることを告げるものです。</p>
	<p>⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。</p>
	<p>●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。</p>

	<p>警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ● 万一、煙が出ている、変な臭いや音がするなどの異常があるときは、すぐ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社サービスセンターにご連絡ください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 内部に水をこぼしたり、異物を入れないでください。万一、水や異物が入ったときは、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社サービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ● この機器を使用できるのは、日本国内のみです。表示された電圧（交流 100V）以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードの上に重い物をのせたり、コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、過熱したり、束ねたりしないでください。コードが破損（芯線の露出、断線）し、火災・感電・発熱の原因となります。コードが傷んだら、販売店または当社サービスセンターに交換をご依頼ください。そのまま使用しないでください。 ● 電池を充電しないでください。電池の破壊、液もれにより、火災・けがの原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分自身で修理したり、分解したりしないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は、販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。 ● この機器を改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。

 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 次のような場所に置かないでください。火災・感電・けがの原因となることがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ● 直射日光が当たる場所や暖房器具のそばなど、高温になる場所。 ● ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。 ● 湿気やほこりが多い場所。 ● 湯気や油煙が当たる場所。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池を誤って使用しないでください。破壊や液もれにより、火災・けがの原因や周囲を汚損する原因となることがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ● 指定以外の電池を使わない。古い電池と新しい電池を混ぜて使わない。 ● 電池を加熱したり、分解したり、ショートしたり、火や水の中に投げ込んだりしない。 ● プラス（+）とマイナス（-）の極性をまちがえない。ケースの指示通りに入れる。
	<ul style="list-style-type: none"> ● レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光源が目にあたると視力障害を起こすことがあります。 ● ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● お子様ディスクやカセットテープの挿入口に手を入れないようにご注意ください。手や指をはさみ、けがの原因となることがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。漏電・火災の原因となることがあります。 ● お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機を移動するときは、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず先端のプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、感電やショートして発火する原因となることがあります。 ● リモコンを長期間ご使用にならないときは、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて周囲を汚損する原因となることがあります。

ご使用前に

■設置のご注意

設置場所について



次のような場所でご使用になりますと、音質が悪化したり、故障などの原因となりますので設置しないでください。

- 窓際など直射日光の当たる場所。
 - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所、または極端に低い場所。
 - 湿度の高い場所。
 - 風通しが悪い場所。
 - ホコリの多い場所。
 - 振動の多い場所や不安定な場所。
 - チューナーやテレビのそば。
- * 雑音や映像の乱れが生じることがあります。

■使用上のご注意

本体のお手入れには



トップカバーやパネル面の汚れ

は、薄めた中性洗剤液を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。

化学ぞうきんやベンジン、シンナー系の液体で拭かないでください。表面を傷める原因となります。



電源について

AC100V (50 - 60Hz) 以外の電源には接続しないでください。電源コードは大切に取り扱いってください。特に、コンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

結露現象について

冬期など、本機を戶外から暖房中の室内に持込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がつき、正しく演奏ができないことがあります。この場合は、電源を入れて1～2時間そのまま放置してください。正常に演奏できるようになります。

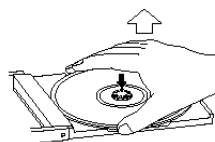
コンパクトディスクについて

本機は、コンパクトディスク (CD方式) 専用のプレーヤーです。CDマークのあるコンパクトディスク (120mm / 80mm) をお使いください。

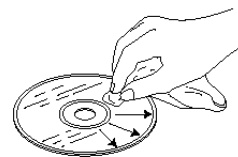
- ディスクをケースから取り出すときは、必ずケースの中心を一度押して、ディスクの外周部分を手ではさむように持って取り出してください。

取り出し方

コンパクトディスクの正しい持ち方



- 信号記録面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。ディスクの汚れは、音飛びの原因となりますので、いつもきれいに清掃し、ケースに入れて保管してください。



- レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所に置かないでください。長時間放置するとそりなどの原因となります。
- レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。
- ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またはシールなどから糊がはみ出しているものは、使用しないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

音のエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜間は小さな音でも周囲によく通るものです。窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

カセットテープについて

■録音防止用つめ

誤って録音内容を消してしまうミスを防ぐために、録音防止用のつめがあります。つめはカセットのA(1)面、B(2)面用にそれぞれあります。ドライバーの先などで折って取り除くと、録音防止装置が働いて録音できません。(① 図)

再度、録音をしたいときは、セロハン・テープを貼ってつめ穴をふさいでください。

(② 図、クローム検出孔をふさがないように)

■テープの「たるみ」

ご使用前に、カセットのテープがたるんでいないか確かめてください。テープがキャプスタンなどに巻き込まれることがあります。鉛筆などでたるみを巻取りましょう。(③ 図)

■テープの自動検出孔について

カセットにはテープ自動検出孔が付いています。本機では、テープの種類を自動検出します。(④ 図)

■おすすめできないカセットテープ

次のようなカセットテープを使用すると、正常な動作や性能が得られないことがあります。またテープが巻込まれて思わぬトラブルを起こすこともありますので、ご注意ください。

●形状精度の悪いカセットテープ

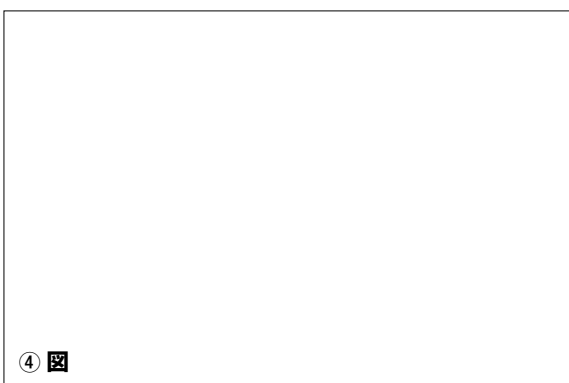
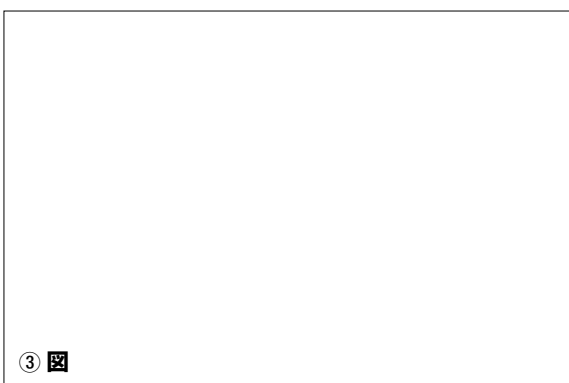
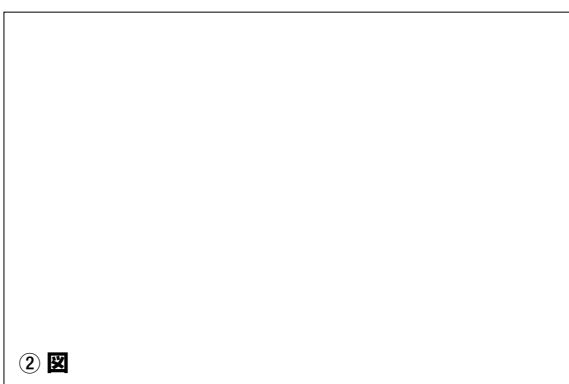
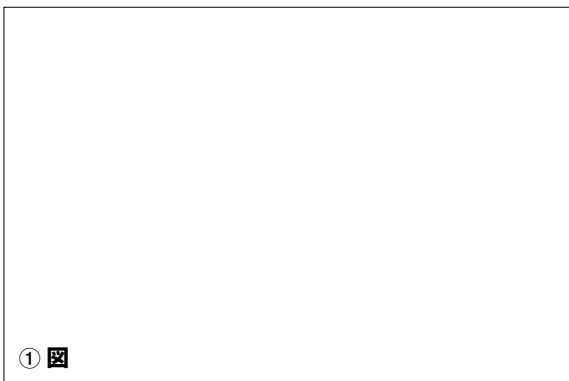
カセットが変形していたり、テープの走行が不安定なもの、早送り、巻戻し中に異音を生ずるカセット。

●長時間テープ

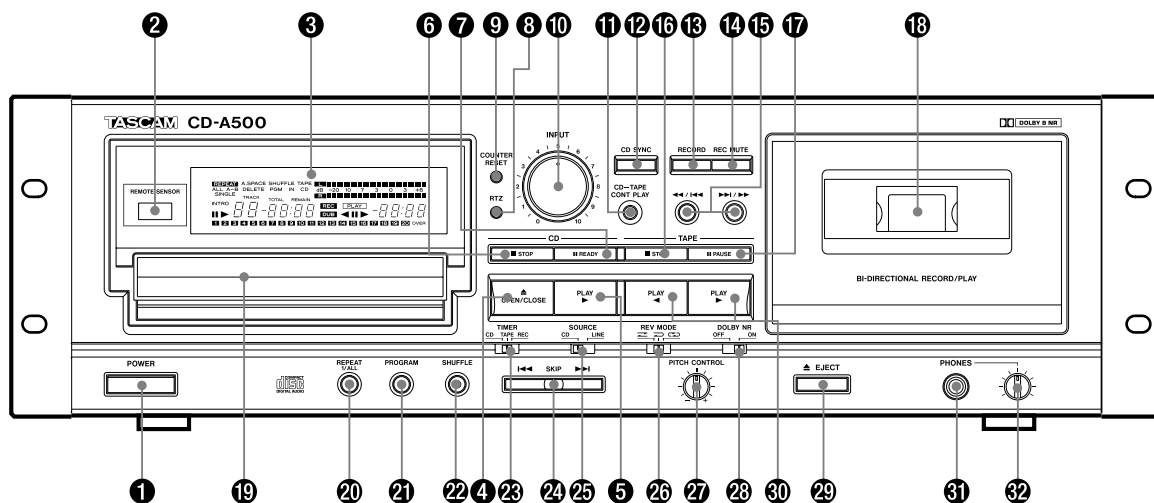
90分を越えるテープは、大変薄くて伸びやすいため、ワウ・フラッターの原因ともなります。また、テープが機械に巻き込まれることがありますので、ご注意ください。

■取扱い上のご注意

- カセットを開けたり、テープを引出したりしないでください。
- テープの磁性体コーティング面に直接手を触れないでください。
- ゴミやホコリの多い場所に放置しないでください。
- 高温・多湿の場所での使用、保管は避けてください。
- 強磁場での使用、保管は避けてください。雑音が入ったり、録音内容が消えてしまうことがあります。



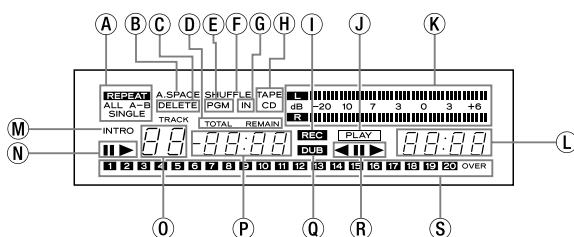
各部の名称



(→) 内の数字は、参照ページです。

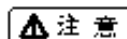
- ① (POWER) 電源ボタン
- ② (REMOTE SENSOR) リモコン受光部
- ③ 表示窓
 - A) リピート表示
 - B) オートスペース表示
 - C) デリートプログラム表示
 - D) タイムモード表示
 - E) プログラム表示
 - F) シャッフル表示
 - G) CD入力表示
 - H) テープ / CD表示
 - I) 録音表示
 - J) テーププレイ表示
 - K) レベルメーター
 - L) テープカウンター
 - M) イントロプレイ表示
 - N) CDレディ / プレイ表示
 - O) トラック表示
 - P) タイムカウンター
 - Q) ダビング表示
 - R) テープリバース / ポーズ / フォワード表示
 - S) ミュージックカレンダー
- ④ (▲ OPEN / CLOSE) 開閉ボタン
- ⑤ (▶ PLAY) CDプレイボタン
- ⑥ (■ STOP) CDストップボタン

- ⑦ (|| READY) CDレディボタン
- ⑧ (RTZ) ゼロリターンボタン (→ 23)
- ⑨ (COUNTER RESET) カウンターリセットボタン (→ 23)
- ⑩ (INPUT) 録音レベル調節つまみ (→ 19)
- ⑪ (CD-TAPE CONT PLAY) 連続再生ボタン (→ 24)
- ⑫ (CD SYNC) CDシンクボタン (→ 21, 22)
- ⑬ (RECORD) 録音ボタン (→ 19)
- ⑭ (REC MUTE) 録音ミュートボタン (→ 20)
- ⑮ (◀ / ▶) 巻戻し / 早送り兼 CPS ボタン (→ 23)
- ⑯ (■ STOP) テープストップボタン
- ⑰ (|| PAUSE) テープポーズボタン
- ⑱ カセットホルダー
- ⑲ ディスクテーブル
- ⑳ (REPEAT 1 / ALL) リピートボタン (→ 14, 15)
- ㉑ (PROGRAM) プログラムボタン (→ 11~13, 22)
- ㉒ (SHUFFLE) シャッフルボタン (→ 15)
- ㉓ (TIMER) タイマースイッチ (→ 24)
- ㉔ (SKIP) スキップボタン
- ㉕ (CD INPUT) CDインプットスイッチ (→ 19)
- ㉖ (REV MODE) リバースモードスイッチ (→ 18, 19)
- ㉗ (PITCH CONTROL) ピッチコントロールつまみ (→ 23)
- ㉘ (DOLBY NR) ドルビーNRスイッチ (→ 18, 19)
- ㉙ (EJECT) イジェクトボタン
- ㉚ (◀ / ▶) テーププレイボタン
- ㉛ (PHONES) ヘッドホンジャック (→ 8)
- ㉜ (LEVEL) ヘッドホン音量調節つまみ (→ 8)
- ㉝ (TIME) タイムボタン (→ 17)
- ㉞ (INTRO CHECK) イントロチェックボタン (→ 16)
- ㉟ (AUTO SPACE) オートスペースボタン (→ 17)
- ㊱ (A-B) A-Bボタン (→ 15, 22)
- ㊲ (◀ / ▶) CDサーチボタン (→ 10)
- ㊳ (SINGLE) シングルボタン (→ 14)
- ㊴ (CHECK) チェックボタン (→ 12)



リモコンについて

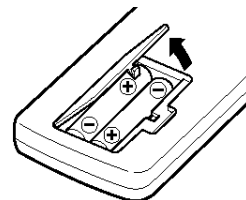
■ご使用上のご注意



- 長い間(一ヶ月以上)リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐために電池を取り出してください。もし液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- 赤外線によりコントロールする他の機器を使用時に、本機のリモコンを操作すると、その機器を誤操作させることがあります。

■電池の入れ方

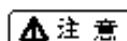
- ① 裏側のふたを開ける。
- ② ⊕、⊖の向きに注意して、単3電池を2本はめ込む。
- ③ ふたを閉める。



■電池の交換時期は…

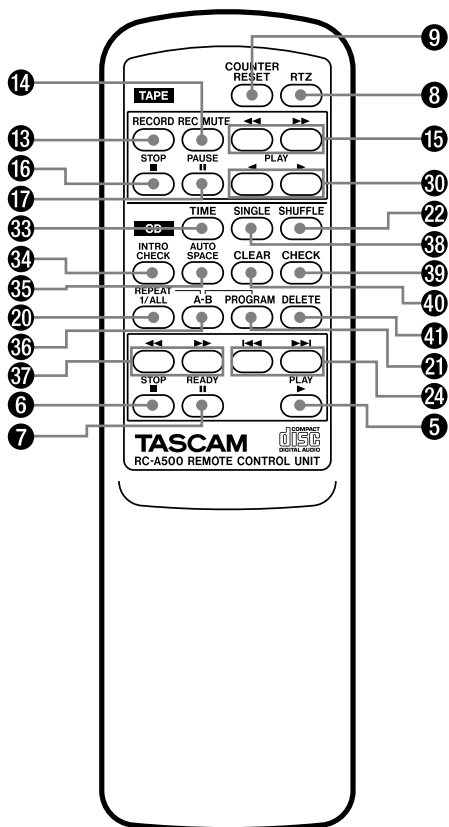
操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。

■電池についてのご注意



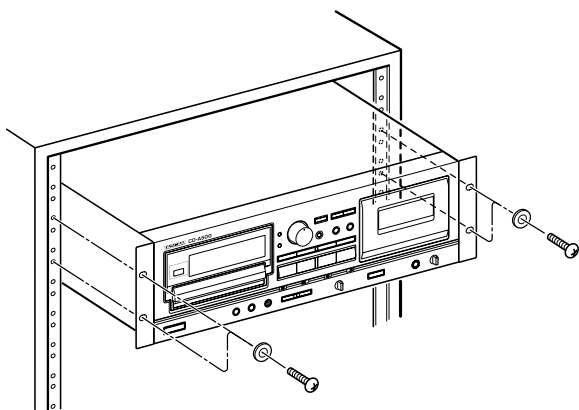
乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。電池の注意表示をよく見てご使用ください。

1. 乾電池の⊕、⊖の向きを、電池ケースの指示どおりに正しく入れてください。
2. 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
3. 乾電池には、同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
4. 乾電池は絶対に充電しないでください。



ラックマウントについて

付属のラック・マウント・ビス・キットを使って、下図のように取り付けてください。

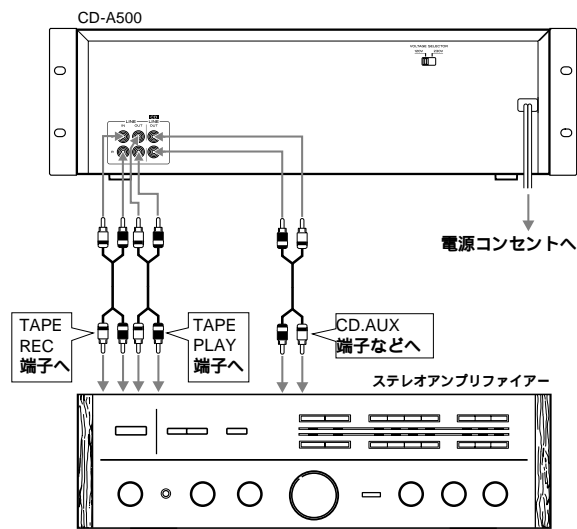


接続のしかた

ステレオアンプとの接続

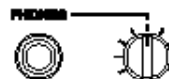
接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。
必ず各機器の電源を切ってから下図のように接続します。

- OUTPUT 端子から、CD またはカセットの音声が出力されます。CD とカセット両方を再生中はカセットの音声を優先的に出力します。
- CD LINE OUT から、常に CD の音声を出力します。
- LINE IN から、カセットの録音ソース信号を入力します。
- 入出力コード（付属）は、白いプラグを左（L）チャンネル、赤いプラグを右（R）チャンネルと決めておくとよいでしょう。
- プラグはしっかりと差し込んでください。

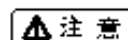


ヘッドホンで聞くには

ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグを差し込み、音量調節をします。



- プラグの抜き差しは音量を下げたから行ってください。
- ヘッドホンで聞くときは、耳をあまり刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。

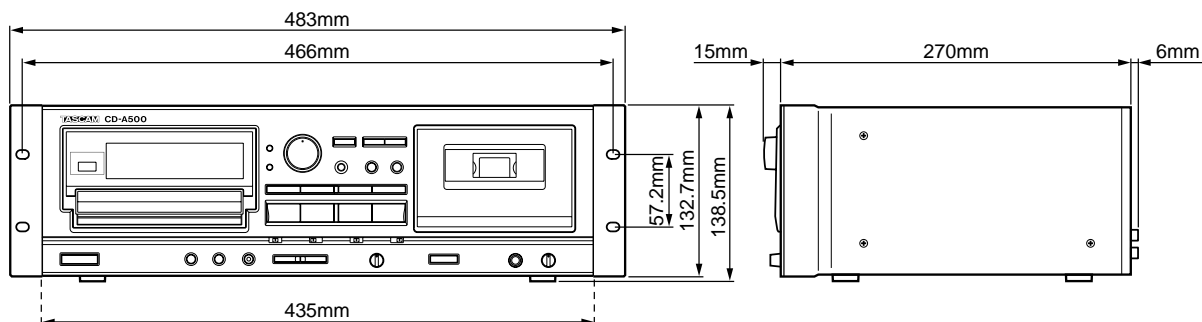


電源の接続

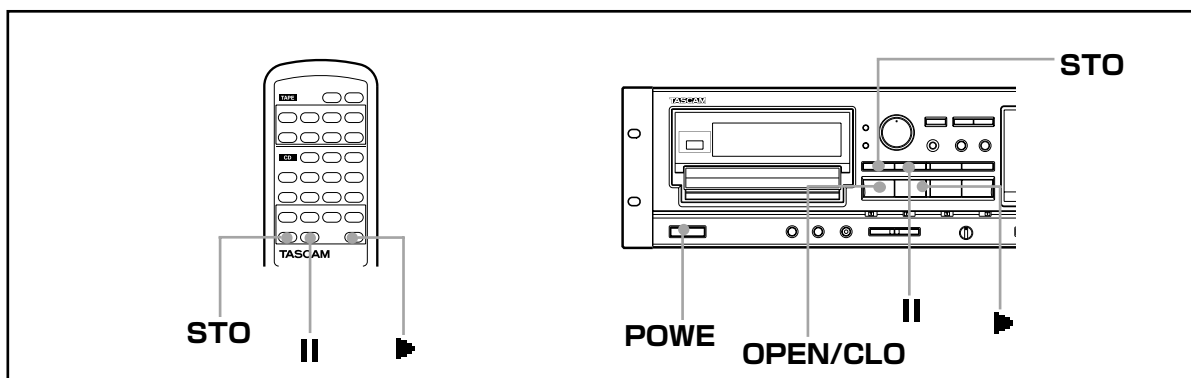
必ず AC（交流）100V の電源コンセントに接続してください。

- プラグは、しっかりと差し込んでください。
- コードの抜き差しは、プラグを持って行ってください。

寸法図

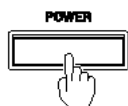


CDを聞く～通常の演奏



CDを演奏する

1. 電源ボタンを押して電源を入れます。



2. 開閉ボタンを押します。



表示窓に"OPEN"を表示し、ディスクテーブルが手前に出てきます。

3. ディスクをのせます。

ディスクは、レーベル面を上にして中央のガイドにのせます。

ご注意

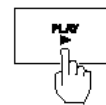
レンタルCDやその再販品を使用するとき、ディスクにシールをはがしたあとの粘着物が付着しているもの、またはシールから粘着物がはみ出しているものは、よく拭き取ってからご使用ください。そのまま使用すると、故障の原因となることがあります。

4. 開閉ボタンを押します。



表示窓に"CLOS"を表示し、テーブルを閉じます。曲数および総演奏時間を表示します。

5. CDのプレイボタンを押します。



ディスクの1曲目から演奏が始まります。終りまで演奏すると、動作が停止します。

メモ

ディスクをのせたあと、開閉ボタンを押さずにプレイボタンを押すと、自動的にテーブルが閉じて演奏を始めます。

途中で止める

CDのストップボタンを押します。



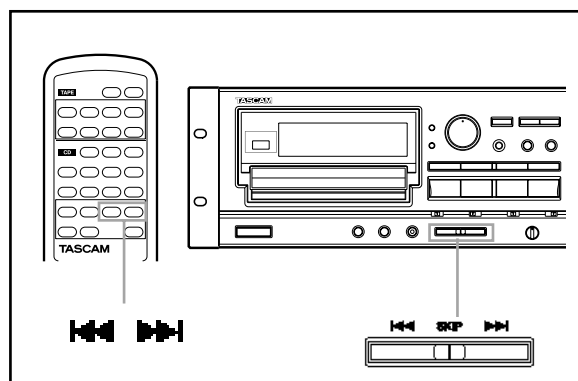
CDのレディボタン || を押すと、その位置で一時停止し、プレイボタンを押すとその位置から演奏を始めます。



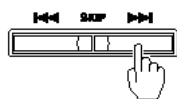
ディスクを取り出すには...

開閉ボタンを押します。取り出した後は再び開閉ボタンを押して、ディスクテーブルを閉じます。

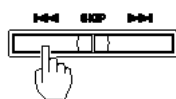
曲を選ぶ～スキップ



スキップボタンを使って曲を選ぶことができます。



次の曲へ



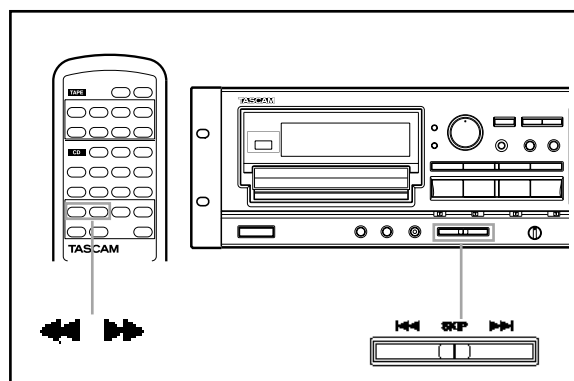
前の曲へ

- ▶▶▶ ボタンを押すと、次の曲の頭へ進みます。
- ◀◀◀ ボタンを押すと、曲の途中であれば現在の曲の頭へ戻り、もう一度押すと前の曲へ戻ります。押す回数によって任意の曲を選ぶことができます。

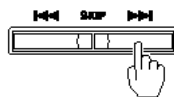
メモ

- ストップまたは演奏中にスキップボタンを押した場合、選ばれた曲は自動的に演奏を始めます。
- 一時停止中にスキップボタンを押した場合、選ばれた曲の頭で一時停止状態となります。

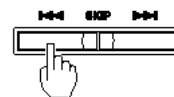
曲の途中を探す～サーチ



一時停止中または演奏中に、早送り/早戻しによって希望の位置を探すことができます。



押しているあいだ、
早送りします。



押しているあいだ、
早戻しします。

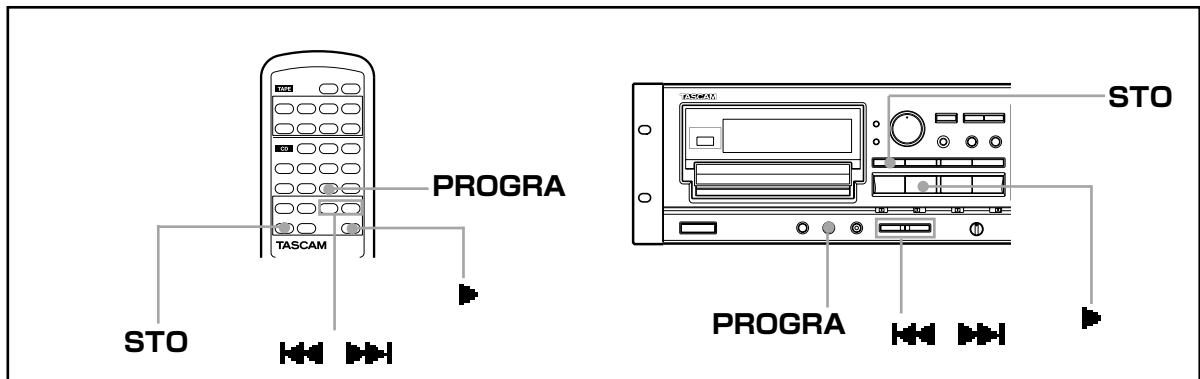
ご注意

- 本体のボタンはスキップボタンを兼用しています。サーチ機能を使うときはボタンを押し続けます。

メモ

- サーチ中は自動的に音量が下がります。

好きな曲順で聞く～プログラム演奏



基本操作（プログラムのしかた）

プログラム演奏機能を使って、指定した曲順に聴くことができます(最大20曲まで)。

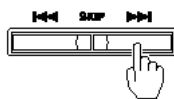
1. CDのストップボタンを押して停止状態にします。

2. プログラムボタンを押します。



表示窓に"PGM"が点灯し、トラック番号表示が点滅します。時間表示部に"P-00"と表示されます。また、カレンダー部(トラック番号表示部)が消灯します。

3. スキップボタンで選曲します。



4. プログラムボタンを押します。



トラック番号が点灯して、"P-01"を表示します(このトラックが1曲目としてプログラムメモリーされたことを意味します)。カレンダー部には、プログラムされた曲番が点灯します。

5. 上記3. と4. の操作を繰り返して、2曲目以降をプログラムします。

(例：5→2→8の順に演奏する場合)



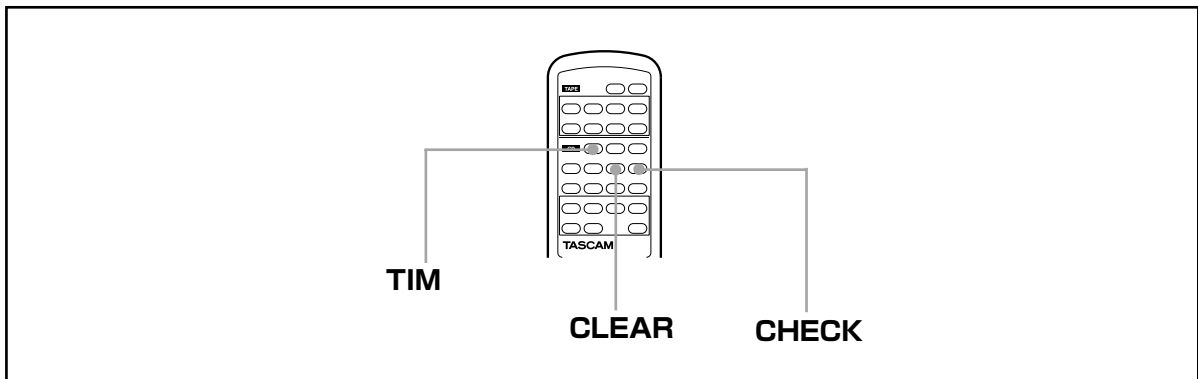
6. プログラムの設定終了後、プレイボタンを押します。

設定順に演奏を行ない、終わると停止します。

停止後も、プログラム設定内容はそのまま残っています。プレイボタンを押すと、ふたたびプログラム演奏を行ないます。

メモ

- プログラム演奏中に停止ボタンを押すと、演奏は停止しますが、プログラム設定内容は残っています。
- 停止中に停止ボタンを押したとき、開閉ボタンを押してディスクテーブルを開閉したとき、プログラム設定が解除されます。



トータル時間を見る

プログラム入力中にリモコンのタイムボタンを押すと、プログラムされた総演奏時間を表示します。



再度タイムボタンを押すと、プログラム入力モードに戻ります。

メモ

- 曲番 32 以降の曲をプログラムに含んでいる場合は、総演奏時間を表示しません。"nn:nn"を表示します。

設定した曲をキャンセルする

クリアーボタンを押すと、最後のプログラム番号をキャンセルします。



メモ

- プログラムされている最後の曲以外はキャンセルできません。

内容をチェックする

チェックボタンを押すと、プログラム 1 曲目の曲番を表示します。以後、チェックボタンを押すたびに、次のプログラム曲の曲番が表示されます。

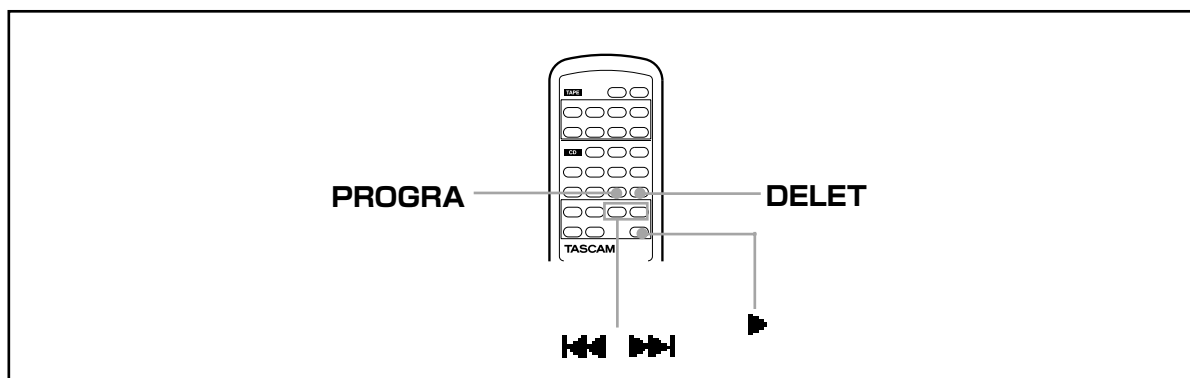


最後のプログラム曲番を表示しているときに、もう一度チェックボタンを押すとプログラムモードに戻り、プログラム曲番を追加することができます。

メモ

- チェック中は表示窓の"Pー"が点滅となります。

曲を削除する～デリートプログラム



デリートプログラム機能を使って、指定した曲を除いて演奏することができます。

1. 停止状態にします。
2. デリートボタンを押します。



表示窓に"DELETE PGM"が点灯し、トラック番号表示が点滅します。時間表示部分に"P-00"を表示します。

3. スキップボタンで削除したいトラックを選択します。



本体のスキップボタンでも操作できます。

4. プログラムボタンを押します。



トラック番号が点灯に変わり、"P-01"を表示します。デリートプログラムされた曲番号がカレンダー表示部から削除されます。

5. 上記3. と4. の操作を繰り返して、削除したい曲を設定していきます。

6. デリートプログラムの設定終了後、プレイボタンを押します。



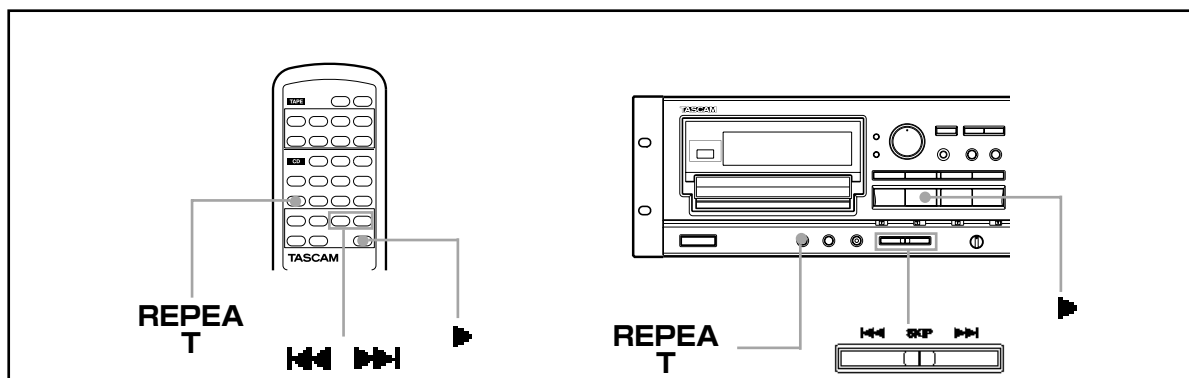
削除設定された曲以外の曲を若い曲番から順に演奏し、終わると停止します。

停止後も、デリートプログラム設定内容はそのまま残っています。プレイボタンを押すと、ふたたびデリートプログラム演奏を行ないます。

メモ

- デリートプログラム入力中にリモコンの[TIME]ボタンを押すと、削除されずに残っている曲の総演奏時間を表示します。再度[TIME]ボタンを押すと、デリートプログラム入力モードに戻ります。
- [CHECK]ボタンを押すたびに、削除設定された順に曲番号を表示します。チェック中は"P-"が点滅となります。最後のデリートプログラム曲を表示しているときにもう一度[CHECK]ボタンを押すと、デリートプログラムモードに戻り、削除する曲を追加することができます。
- [CLEAR]ボタンを押すと、最後のデリートプログラム曲が取り消されます。
- 停止中に[STOP]ボタンを押したとき、開閉ボタンを押してディスクテーブルを開閉したとき、デリートプログラム設定が解除されます。

繰り返し聞く～シングルリピート、オールリピート、A-Bリピート



1曲、全曲、あるいは任意の区間(A-B)を繰り返し演奏することができます。

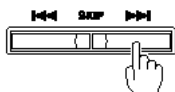
1曲を繰り返し演奏する～シングルリピート

1. リピートボタンを押します。



表示窓に"REPEAT"と"SINGLE"が点灯します。

2. 演奏したい曲をスキップボタンで選曲します。



選ばれた曲を繰り返し演奏します。

メモ

- 通常の演奏中にリピートボタンを押すと、演奏中の曲を繰り返し演奏します。
- シングルリピートを解除するにはリピートボタンを2回押します。

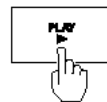
全曲を繰り返し演奏する～オールリピート

1. リピートボタンを2回押します。



表示窓に"REPEAT"と"ALL"が点灯します。

2. CDのプレイボタンを押します。

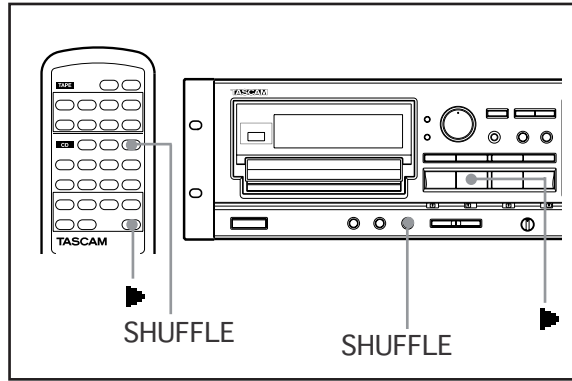
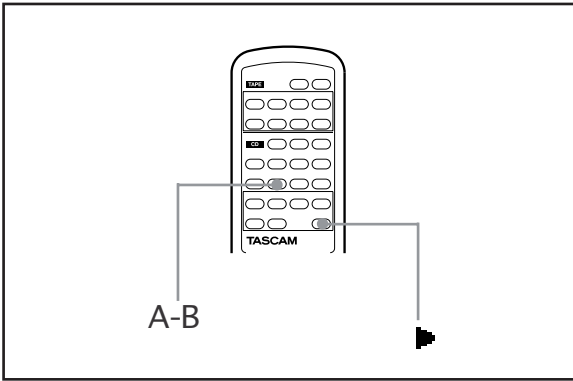


全曲を繰り返し演奏します。

メモ

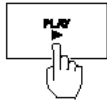
- 通常の演奏中にリピートボタンを2回押すと、そのまま演奏を続け、全曲を繰り返し演奏します。
- プログラム演奏でオールリピートにすると、プログラム曲を繰り返し演奏します。
- オールリピートを解除するにはリピートボタンを1回押します。

ランダムに聞く～シャッフル



任意の区間を繰り返し演奏する～A-Bリピート

1. 区間の手前から演奏を行ないます。

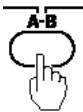


2. 繰り返し演奏を始めた位置(A点)でA-Bボタンを押します。



表示窓に"REPEAT A-"が点灯し"B"が点滅します。

3. そのまま演奏を続け、繰り返し演奏を終えたい位置(B点)でA-Bボタンを押します。



表示窓に"REPEAT A-B"が点灯し、自動的に始点(A点)に戻り、A-B間の繰り返し演奏を始めます。

ディスクの全曲をランダム(無作為)な順序で演奏します。

1. 停止中にシャッフルボタンを押します。





表示窓に"SHUFFLE"が点灯します。

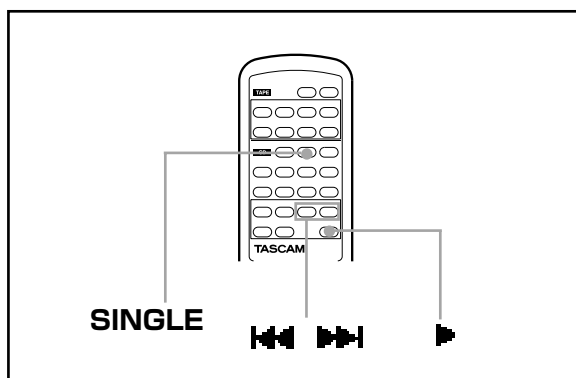
2. プレイボタンを押します。



メモ

- シャッフルモードを解除するには、もう一度シャッフルボタンを押します。
- シャッフルモード中、 ボタンを1回押しと演奏中の曲の頭に戻りますが、それ以上押ししても受け付けません。 ボタンを押すと次に演奏する曲を選曲します。

1 曲だけ聞く～シングル



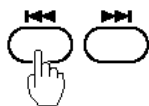
1 曲演奏後に停止しますので、どれか 1 曲だけ聞きたいときに便利です。

1. シングルボタンを押します。



表示窓に "SINGLE" が点灯します。

2. スキップボタンで聞きたい曲を選択します。



3. プレイボタンを押します。

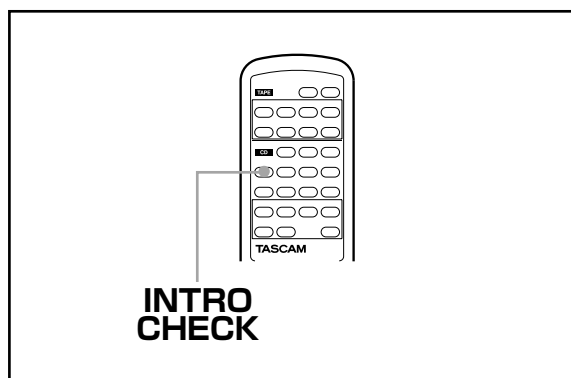


その曲の演奏が終わると、自動的に停止します。

メモ

- 解除するにはもう一度シングルボタンを押します。

イントロを次々と聞く～イントロチェック



イントロチェック機能により、ディスクの各トラックの出だしの部分を 10 秒間ずつ次々と演奏します。

イントロチェックボタンを押します。



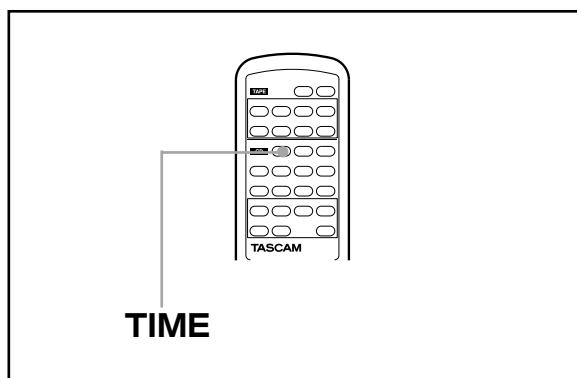
表示部に "INTRO" が点灯します。

1 曲目から順に、曲の出だしの部分を 10 秒間ずつ、全曲演奏します。演奏終了後、イントロチェックモードは解除されます。

メモ

- 停止状態以外では、イントロチェックボタンは働きません。
- プログラムモード時は、プログラムされている曲順に出だし部分の演奏を行いません。
- 途中で解除するには、もう一度イントロチェックボタンを押すか、あるいはストップボタンを押します。イントロチェックボタンを押して解除した場合は、そのまま演奏を続けます。

時間表示を切替える



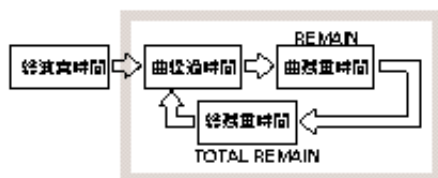
演奏中、通常は曲経過時間が表示されていますが、各曲の残り時間、または全体の残り時間に切替えることができます。

タイムボタンを押します。



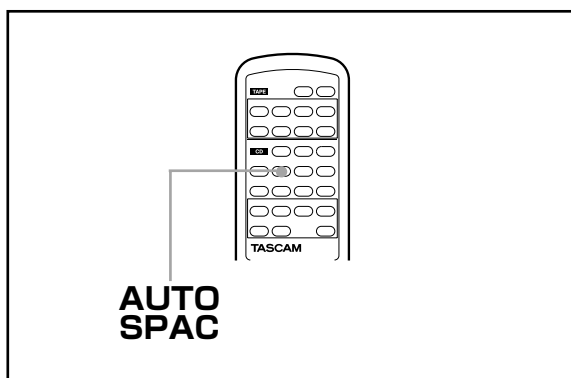
(停止中)

(演奏中)



- 曲の残り時間を見るには、演奏中または一時停止中、タイムボタンを1回押します ("REMAIN"点灯)。
- 全体の残り時間を見るには、タイムボタンをもう1回押します ("TOTAL REMAIN")。
- 曲経過時間に戻すにはタイムボタンをもう1回押します。

曲間を空ける~オートスペース



曲間に4秒間のスペース(無音部分)を入れて演奏することができます。テープにダビング後、曲の頭出しをするときなどに使います。

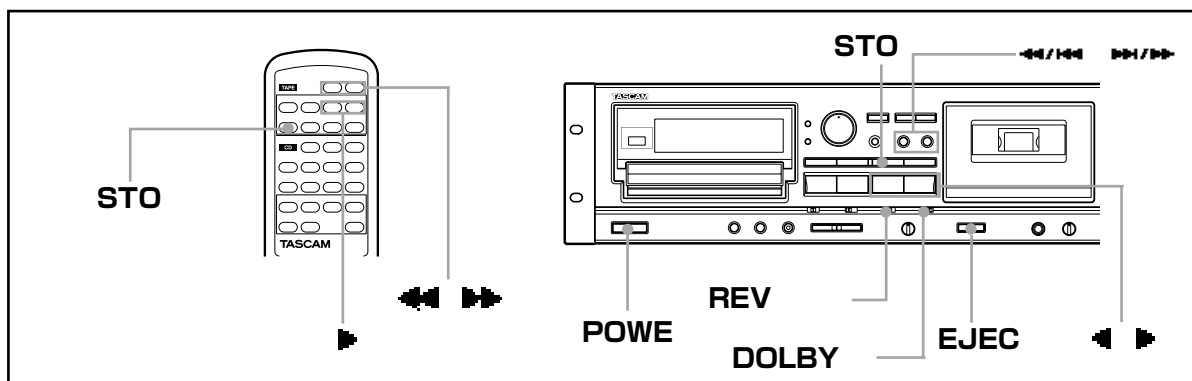
リモコンのオートスペースボタンを押します。



表示窓に"A.SPACE"が点灯します。

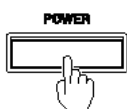
解除するには、もう一度オートスペースボタンを押します。

カセットを聞く

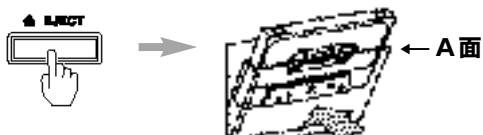


再生する

1. 電源ボタンを押して電源を入れます。



2. イジェクトボタンを押します。カセットを装着します。



A面を手前にし、テープの見えるほうを下向きにして、カセットを入れ、ホルダーを手で押して閉めます。

3. リバースモードを選びます。



続5 往復再生

: A面とB面を連

: A面とB面の両面再生

: A面またはB面の片面再生

4. ドルビーのオン/オフを選びます。



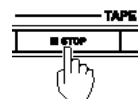
ドルビー（Bタイプ）録音したテープを再生するときには、ドルビーNRスイッチをONにします。

5. プレイボタンを押します。



A面を再生する場合は ボタンを、B面を再生する場合は ボタンを押します。

ストップボタンを押すと再生が止まります。



早送り／巻戻しをする

テープが停止状態のときに「早送り／巻戻し」ボタンを押すと、早送り／巻戻しを行ないます。



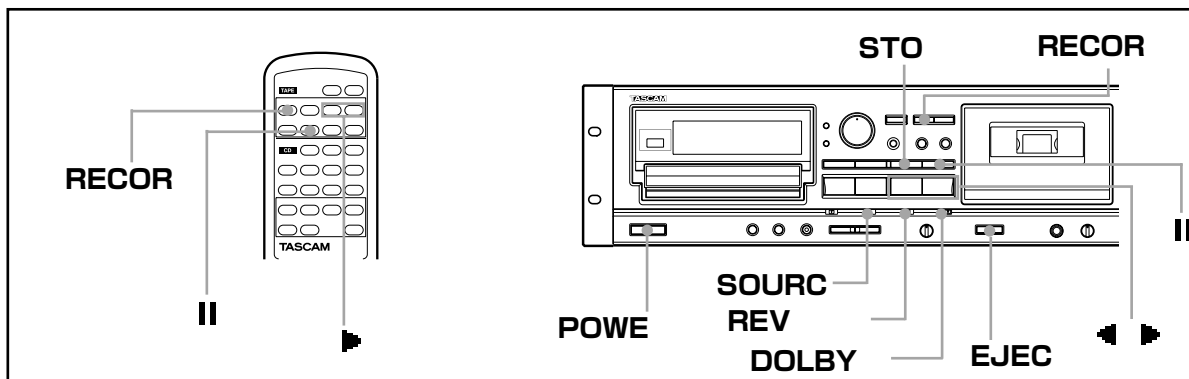
早送り

巻戻し

注意

テープ再生中にこれらのボタンを押した場合、CPSモード（曲の検索モード）となります。これについては、23ページ「曲を選ぶ～CPS」をお読みください。

録音する



1. 電源を入れ、カセットを挿入します。

2. 録音ソースを選びます。



ソーススイッチをCD側にすると、CD信号が、LINE側にすると外部からの入力信号が録音ソースとなります。

3. リバースモードを選びます。



■、**■** : A面とB面の両面を録音

■ : A面またはB面の片面録音

4. ドルビーのオン/オフを選びます。



ドルビー（Bタイプ）を入れて録音したいときには、ドルビーNRスイッチをONにします。

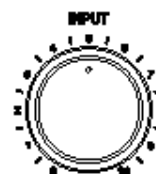
5. 録音ボタンを押します。



録音待機状態となり、録音ソースの音が聞こえます。メーターが録音入力信号のレベルを表示します。

6. 録音レベルを設定します。

録音ソースを再生し、メーターを見ながら最適レベルになるように録音レベルつまみで調節します。



↑
メタル
ノーマル、クローム

一番レベルの高いときのメーターの指示が、ノーマルテープ、クロームテープでは0dB、メタルテープでは+3dBぐらいになるように設定します。

7. テープ走行方向を選択します。

表示窓のリバース/フォワード表示（◀▶）が、現在のテープ走行方向を示しています。

録音方向と逆の場合は、録音方向の再生ボタンを押すとテープ走行方向が変わります。



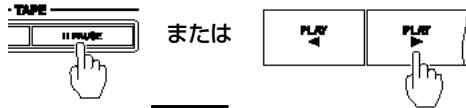
ご注意

表示窓のテープリバース/フォワード表示（◀▶）と同じ方向の再生ボタンを押すと、録音が始まります。

8. 録音を開始します。

曲間にスペースをつくる～ミュート

ポーズボタンまたはプレイボタンを押します。



ご注意

表示窓のテープリバース/フォワード表示（◀▶）と逆方向の再生ボタンを押すと、方向転換のみで録音は開始されません。もう一度、同方向のボタンを押します。

録音の一時停止

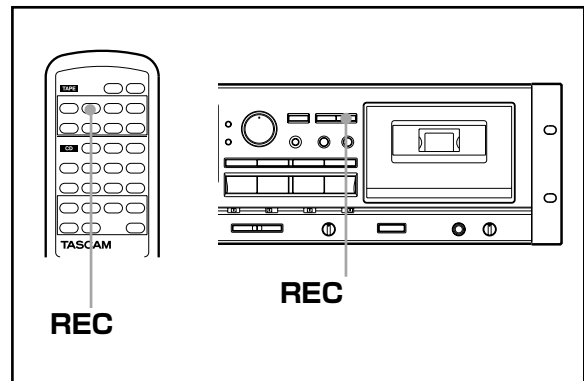
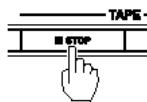
ポーズボタンを押すと録音が一時停止します。



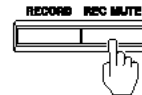
もう一度押すと解除されて再び録音が始まります。

録音の終了

ストップボタンを押します。



録音中に録音ミュートボタンを押すと、約4秒間の無信号録音が行なわれた後、一時停止します。



4秒以上のスペースをつくるには...

録音ミュートボタンを4秒以上押し続けます。4秒以上押し続けて指を離すと、一時停止状態となります。

4秒以下のスペースをつくるには...

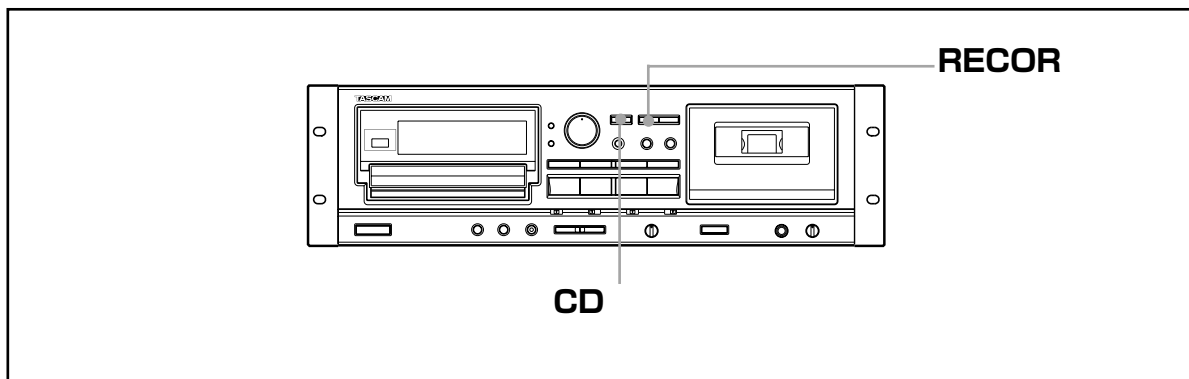
無信号録音中にポーズボタンを押すと、ただちに録音一時停止となります。

また、無信号録音中に再度録音ミュートボタンを押すと、通常の録音が再開されます。

メモ

- 録音一時停止中に録音ミュートボタンを押すと、約4秒間の無信号録音が行なわれた後、一時停止します。

CDからテープへダビングする



本機のCDとカセット間のダビングがワンタッチで行なえます。あらかじめカセットのA面に入れる曲とB面に入れる曲を割り振っておき、自動的にダビングすることもできます。

準備

1. CDをセットします。

ダビングの際もプログラム、ランダム、シングル、リピートなどの機能が使えます。また、A-Bプログラム機能(次ページに説明)も使うことができます。特に設定をしなければ1曲目からダビングを行ないます。

2. カセットをセットします。

メモ 録音レベルは自動的に設定されます。録音レベルボリュームは動きません。

テープのA面の頭から録音する

停止状態でCDシンクボタンを押します。



自動的にA面の頭までテープを巻き戻し、テープカウンターを"0000"にリセットします。CDは最初の曲の頭で一時停止して待機します。次にカセットは約10秒の無信号録音を行なった後(リーダーテープ部分を避けるため)、CDの演奏と同時に録音モードになり、ダビングを開始します。

テープの途中から録音する

1. 録音したい位置までテープを送ります。
2. 録音ボタンを押して録音一時停止にします。



表示窓に"REC"とIIが点灯します。

3. CDシンクボタンを押します。

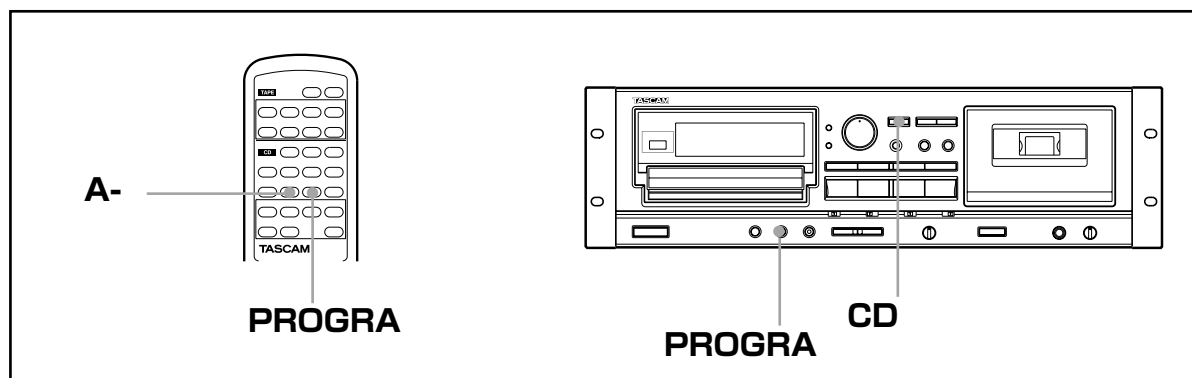


録音方向設定にしたがってその位置からダビングを開始します。

メモ

- ダビング中は、ストップボタン、開閉ボタン、タイムボタン以外は動きません。
- シャッフルモード、イントロチェックモードではCDダビングができません。

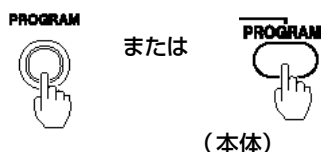
CDからテープへダビングする～A-Bプログラム



A面に入れる曲とB面に入れる曲を指定してダビングする～A-Bプログラム

A-Bプログラム機能によって、あらかじめカセットのA面に入れる曲とB面に入れる曲をプログラムしておき、自動的にダビングすることができます。

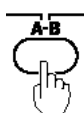
1. プログラムボタンを押します。



リモコン)

(本体) (リモコン)

2. リモコンのA-Bボタンを押します。



表示窓にA-が点滅し、Bが点灯します。

A面のプログラムモードになります。

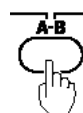
3. A面の曲順をプログラムします。

11ページの「好きな曲順で聞く」の手順3、4、5にしたがって曲順をプログラムします。

メモ

- プログラム入力中にリモコンの[TIME]ボタンを押すと、プログラムされた総演奏時間を表示します。テープの録音時間に合わせるときに使います。

4. リモコンのA-Bボタンを押します。



表示窓にA-が点滅し、Bが点滅します。

B面のプログラムモードになります。

5. B面の曲順をプログラムします。

- B面のプログラム設定モード中にA-Bボタンを押すと、A面のプログラム設定モードに戻ります(A-が点滅し、Bが点灯)。

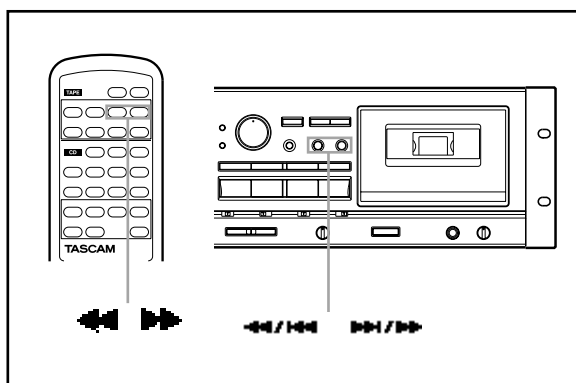
5. 本体のCDシンクボタンを押します。



前ページ「テープのA面の頭から録音する」同様、頭まで巻き戻します。CDはプログラムAの頭で一時停止します。10秒間の無信号録音の後、A面の頭から録音をします。

- **メモ** ● テープを録音待機状態にしてからCDシンクボタンを押すと、その位置から録音を始めます。
- テープエンドにきた時点で再生中の曲が頭から1分30秒以内のときは、その曲をB面の頭からダビングし直します(A-Bプログラム時以外)。
- リバース動作後、10秒間の無信号録音をしてからCDの演奏を開始します。
- CDの演奏が残っている状態で、テープがB面の終わりになった場合、その時点でダビングを終了します。
- CDの演奏が終了すると、ダビングを停止します。

曲を選ぶ～CPS機能



再生中に早送り／巻戻しボタンを押すことにより、曲を選ぶことができます（CPS機能）。
CPSとはComputomatic Program Searchの略です。

再生中に早送り／巻戻しボタンを押します。



▶▶ ボタンを押すと、次の曲の頭を探してそこから再生を始めます。表示窓に"CP-01"を表示します。押す回数によって任意の曲を選ぶことができます。

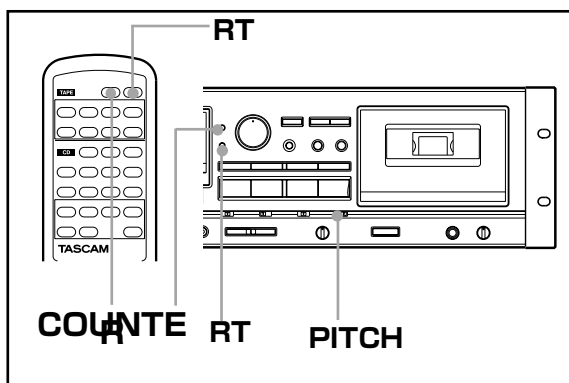
◀◀ ボタンを押すと、曲の途中であれば現在の曲の頭を探し、曲の頭であれば手前の曲を探します。表示窓に"CP-01"を表示します。押す回数によって任意の曲を選ぶことができます。

● 上記の説明は、フォワード再生時です。リバーズ再生時は、◀◀ ボタンが次の曲を探し、▶▶ ボタンが前の曲を探します。

注意

再生中以外は、◀◀／▶▶ ボタンは早送り／巻戻しボタンとして機能します。

その他の機能



ピッチ（音程）を変える

カセットの録音／再生時にピッチ（音程）を変えることができます。



ピッチコントロールつまみを右に回すと、テープ走行速度が速くなり音程が上がります。左に回すと、テープ走行速度が遅くなり音程が下がります。

メモ

右一杯に回したとき、スピードが約12%速くなります（音程で約1音上がります）。左一杯に回したときでスピードが約12%遅くなります（音程で約1音下がります）。

テープカウンター

カウンターリセットボタンを押すと、テープカウンターを"0000"にリセットします。



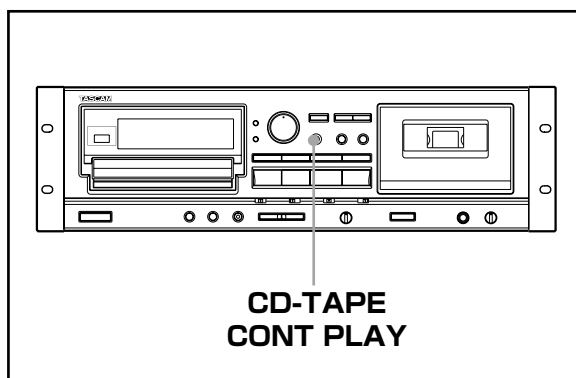
RTZ(Return To Zero) ボタンを押すと、テープの"0000"をサーチして停止します。



メモ

- 録音や再生を始める前にカウンターリセットボタンを押して"0000"にリセットしておく、あとからRTZボタンでその位置に戻ることができます。
- "9996"～"0004"の間はRTZ動作ができません。

CD とテープの連続再生



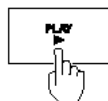
連続再生モードでは、CDとテープのどちらかが再生をやめるともう一方が再生を始めます。

1. 連続再生ボタンを押します。



(表示窓に"TAPE"と"CD"が点滅)

2. (例として) CD を再生します。



滅)

(表示窓に"CD"が点

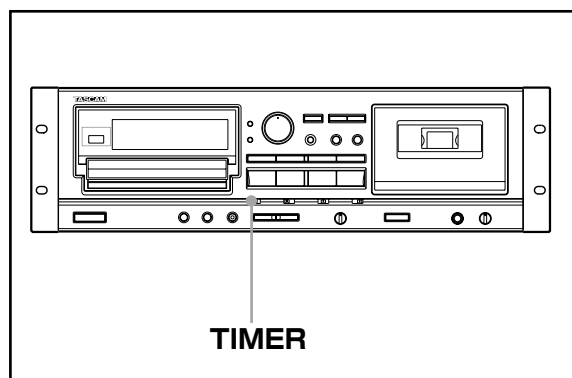
3. CD が停止するとテープが再生を始めます。

(表示窓に"TAPE"が点滅)

以後片方が停止すると、もう一方が再生を始めます。

- 再生が終了して自動的に停止しても、またはストップボタンを押して停止しても、同じようにテープが再生を始めます。
- 待機中(停止中)にCDやテープの入れ換えその他の操作を行なってもかまいません。
- 連続再生モードを解除するには、連続再生ボタンを押します。

タイマー再生／録音



タイマースイッチの設定により、本機の電源を入れたときに自動的に動作します。



CD : CDを演奏します。
TAPE : テープを再生します。
REC : テープを録音します。

メモ

- 外部のタイマーと本機を連動させることによって、CDやテープを目覚ましとして使うことができます。

おや！故障かな？

ちょっと待ってください。サービスをご依頼になる前に、もう一度チェックしてください。
 案外簡単な操作ミスや勘違いであることが多く、ちょっとした手入れで直ることがあります。

症状	原因	処理
一般		
電源スイッチを押しても電源が入らない	電源プラグの差し込みが不完全	電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください
ジーという音が出る	プラグの接続不良	プラグをしっかりと差し込んでください
チューナーにノイズが入る	本機とチューナーの設置場所が近すぎる	設置場所を遠くするか、本機の電源を切ります
リモコン操作ができない	本体の電源が入っていない	本体の[POWER]スイッチを押します
	リモコンの電池が入っていない	電池を入れてください
	リモコンの電池が消耗している	新しい電池と交換してください
CD 演奏		
ディスクを入れても演奏できない	ディスクが裏返しになっている	ディスクのレーベル面を上にしてください
音が出ない(小さい)	出力コードの接続が不完全	接続を確認してください
	アンプの操作を間違えている	アンプのスイッチの設定を確認してください。
	テープを再生している	テープを止めるか、CD LINE OUTとアンプを接続してください。
繰り返し演奏する	リピートモードになっている	[REPEAT] ボタンを押して解除してください
音飛びする	本機に振動やショックを与えている	設置場所を変えるか、原因を取り除いてください
テープ再生・録音		
音が出ない(小さい)	出力コードの接続が不完全	接続を確認してください
	アンプの操作を間違えている	アンプのスイッチの設定を確認してください
音質がおかしい	ヘッドやピンチローラーが汚れている	TZ-261 の A 液と B 液で清掃してください
	ヘッドが帯磁している	E-3 で消磁してください
	ピッチコントロールが働いている	[PITCH CONTROL] つまみをセンターに設定する
録音しない(録音できない)	カセットの誤消去防止ツメが折れている	ツメ穴にセロハンテープなどを貼ってください
	入力コードのはずれ	接続を確認してください
	入力コード不良	コードを交換してください
	録音レベルが低い	[REC LEVEL] つまみを右に回してください
リバーズしない	片面モードになっている	[REV MODE] スイッチを  か  にする

簡単なお手入れ

■清掃

ヘッド部が汚れてくると、高域特性が悪化したり、音飛びや濁りなどの原因になります。使用の前に、クリーニング液を綿棒に含ませてヘッド部を清掃してください。テープ走行部の汚れは、テープの巻き込みなどを引き起こすことがあります。ヘッド部と一緒に清掃を行ってください。(図参照)

清掃・消磁箇所

注：ヘッドのクリーニング液が乾くまで、録音／再生を行わないでください。クリーニングには、TZ-261 A液とB液（別売）をご使用ください。

■消磁

ヘッド部は磁気を帯びることがあります。磁化されたヘッドは、雑音が入ったり、高音が出にくくなるなど録音／再生に悪影響を及ぼします。30時間に1回程度、ヘッドイレーサーを（別売）使用して消磁してください。

ヘッドの消磁は、本機の電源を切り、電源を入れたヘッドイレーサーをヘッドに近づけ、表面を数回するようにして徐々にヘッドから遠ざけます。

E-3ヘッド・イレーサー

保証とアフターサービス

■保証書

- ・この商品には、保証書を別途添付しております。
- ・保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記載事項をお確かめの上、販売店からお受け取りください。また、保証内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- ・保証期間は、お買い上げ日から1年です。

■補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げ店、または最寄りの当社サービスセンター（裏表紙に記載）にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

25ページに従ってお調べいただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げ店、または当社サービスセンターにご連絡ください。なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

- 品名：CDプレーヤー／カセットデッキ
- 型名：CD-A500
- お買い上げ日
- 故障の状況（できるだけ詳しく）
- ご住所
- お名前
- 電話番号

仕様

[CDプレーヤー部]

(オーディオ)	
オーディオチャンネル数	2チャンネル
周波数特性	10~20,000Hz ±0.5dB
SN比	90dB
ダイナミックレンジ	90dB
高調波歪率	0.02% (1kHz)
ワウ・フラッター	測定限界値以下 (水晶発振精度)
チャンネルセパレーション	75dB
出力	2Vrms
デジタルフィルター	4倍オーバーサンプリング デジタルフィルター
アナログフィルター	3次アナログフィルター
(信号フォーマット)	
標準化周波数	44.1kHz
量子化ビット数	16ビット・リニア/チャンネル
伝送レート	4.3218Mb/sec
変調方式	EFM
エラー訂正方式	CIRC

(ピックアップ)

方式	光学式3ビーム
対物レンズ駆動方式	2次元平行駆動
光源	半導体レーザー
波長	780nm

[カセット部]

トラック方式	4トラック2チャンネル ステレオ
ヘッド構成	録音/再生ヘッド x 1 (回転リバース式) 消去ヘッド x 1
使用テープ	C-60, C-90タイプ カセットテープ
テープ速度	4,76cm/sec
モーター	DCサーボモーター x 1
ワウ・フラッター	0.08% (W.RMS)
周波数特性 (総合)	50~15,000Hz ±3dB : メタル 50~15,000Hz ±3dB : クローム 50~14,000Hz ±3dB : ノーマル
SN比 (総合)	59dB (ドルビーOUT, 3%THDレベルWTD) 69dB (ドルビーIN, 5kHz以上)
早巻時間	約120秒 (C-60テープ)
入力	ライン: 87mV (入力インピーダンス 50kΩ以上)
出力	ライン: 0.46V (負荷インピーダンス 50kΩ以上) ヘッドホン: 1mV/8Ω

[一般]

電源	100V AC 50-60Hz
消費電力	14W
外形寸法	483x 133 x 270mm (WxHxD)
質量	6.4kg

[付属品]

- ワイヤレスリモコン RC-A500 x 1
- 乾電池 (単3, SUM-3) x 2
- ラックマウントビスケット
- 取扱説明書

*仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
*製品の改善により、取扱説明書のイラストなどが一部製品と異なることがあります。あらかじめご了承ください。

*ドルビーノイズリダクションはドルビーラポラトリーズライセンスコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。

*ドルビー、DOLBY及びダブルD記号(DD)はドルビーラポラトリーズライセンスコーポレーションの登録商標です。

著作権について

*放送やレコードその他の録音物 (ミュージックテープ、カラオケテープ、コンパクトディスクなど) の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。

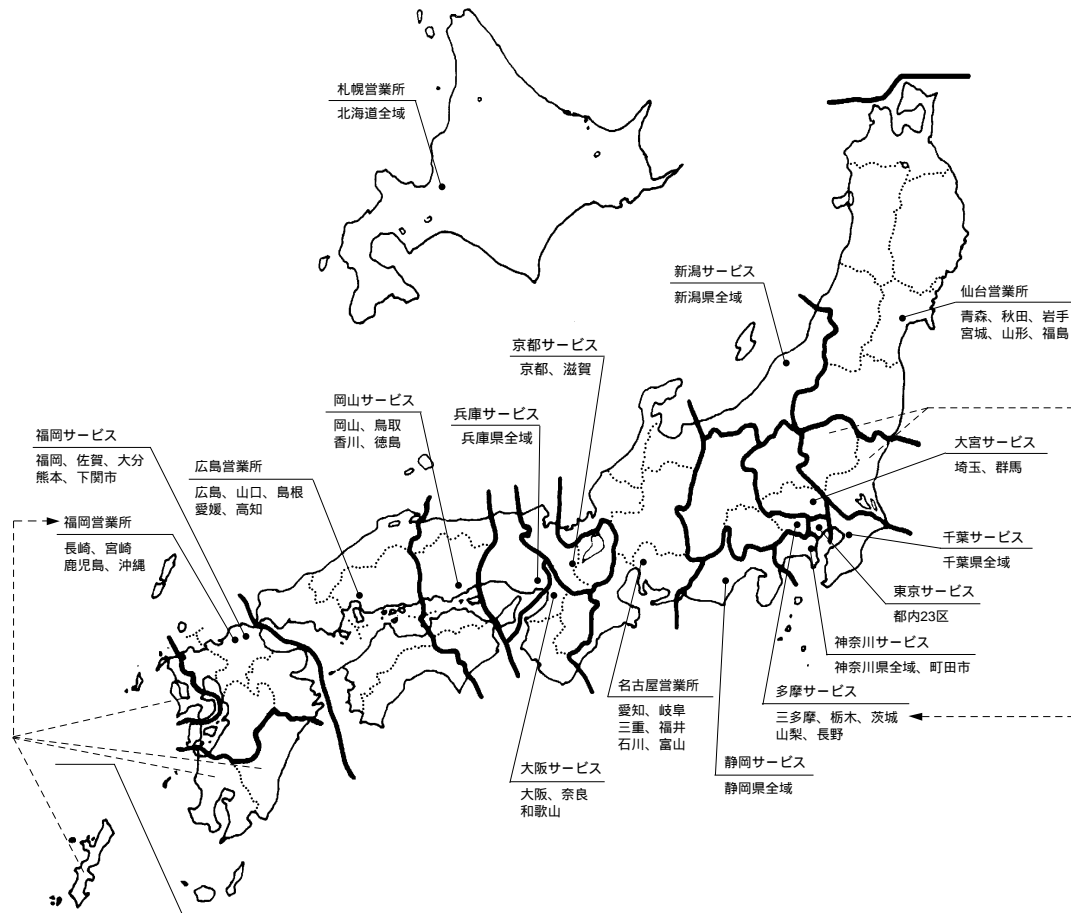
*従って、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利 (店のBGMなど) のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。

*使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」(JASRAC) の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

*日本音楽著作権協会本部
TEL. (03)3502-6551 (大代表)

CD-A500 Compact Disc Player/Reverse Cassette Deck

TASCAM サービス・エリア



ティアック株式会社

電子機器事業部
タスカム・デバイス

☎(0422)52-5072

〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

お問い合わせ、ご相談

タスカム営業技術

☎(0422)52-5106

〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

サービスに関するお問い合わせは、最寄りの営業所などへご連絡ください。営業所にはサービス・センターが併設されています。

札幌営業所 ☎(011)521-410(代)
 仙台営業所 ☎(022)227-150(代)
 新潟サービス ☎(025)245-0103
 大宮サービス ☎(048)642-4551
 多摩サービス ☎(0422)52-5102
 東京サービス ☎(03)3592-1827
 千葉サービス ☎(043)255-1281
 神奈川サービス ☎(0427)46-6850
 静岡サービス ☎(054)238-2431
 名古屋営業所 ☎(052)702-3100(代)
 京都サービス ☎(075)871-8730
 大阪サービス ☎(06)384-5365(代)
 兵庫サービス ☎(0727)55-1002
 岡山サービス ☎(0862)25-8601
 広島営業所 ☎(082)294-475(代)
 福岡営業所 ☎(092)431-578(代)
 福岡サービス ☎(092)936-5672
 タスカム東京営業所 ☎(03)3592-205(代)
 タスカム大阪営業所 ☎(06)384-570(代)

〒064-0807 札幌市中央区南7条西2-2-2
 〒980-0811 仙台市青葉区1番町2-5-5
 〒950-0865 新潟県新潟市元馬越1-4-11
 〒331-0052 大宮市三橋2-846
 〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3
 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-10-7
 〒260-0042 千葉市中央区榎森1-21-13
 〒228-0802 相模原市上鶴間3553-1
 〒422-8034 静岡市高松1-12-1
 〒465-0025 名古屋市名東区上社5-406
 〒616-8224 京都市右京区常盤窪町19
 〒564-0062 吹田市垂水町3-34-10
 〒666-0004 兵庫県川西市萩原1-11-29
 〒700-0945 岡山市新保1142-6
 〒730-0846 広島市中区西川口町13-19
 〒812-0008 福岡市博多区東光2-2-24
 〒811-2202 福岡県粕屋郡志免町志免1041
 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-10-7
 〒564-0062 吹田市垂水町3-34-10

くぼたビル
 中央ビル
 黒井ハイツ
 星ガ岡会館
 清水ビル
 グリーンシティビル
 寿道ハイツ105号
 西垣ビル
 星ガ岡会館

電話でのお問い合わせ受付時間... 9:30~12:00 / 13:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

営業所またはサービス・センターの電話番号や住所などは、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。